

問題 1

86 歳女性。当院外科に S 状結腸憩室炎穿孔後（Hartman 手術）の傍ストーマヘルニア、腹壁癒痕ヘルニアのために通院中である。以前、総胆管結石を指摘され、内視鏡的乳頭切開術（EST）を受けたことがある。今回、CEA 上昇の精査目的に施行された CT で総胆管結石の再発を指摘され、治療目的に当科へ入院した。

【既往歴】

S 状結腸憩室炎穿孔後（Hartman 手術）、傍ストーマヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、右膝関節術後、緑内障、糖尿病、高血圧症

【身体所見】

身長 132cm、体重 50.3kg、体温 36.4℃、血圧 125/62mmHg。意識清明。腹部は肥満・軟、自発痛・圧痛なし。

【血液検査所見】

WBC 8260, RBC 495 万, Hb 14.3 g/dL, Plt 40.6 万, 血漿総蛋白 7.3 g/dL, Alb 4.1 g/dL, T-Bil 0.5 mg/dL, D-Bil 0.1 mg/dL, AST 30 U/L, ALT 16 U/L, LD 292 U/L, ALP 68 I/L, γ -GTP 37 U/L, アミラーゼ 123 U/L, BUN 22 mg/dL, Cre 0.88 mg/dL, 空腹時血糖 102, HbA1c 6.5%, CRP 0.11, Na 140 mmol/dL, K 4.1 mmol/dL, Cl 102 mmol/dL

内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）を別に示す。



問1 胆管内結石で最多なのはどれか。

- A. 混成石
- B. 混合石
- C. 黒色石
- D. ビリルビンカルシウム石
- E. 炭酸カルシウム石

問2 治療として、最も適切なのはどれか。

- A.経口胆石溶解療法
- B.体外衝撃波結石破碎術（ESWL）
- C.内視鏡的乳頭バルーン拡張術（EPBD）
- D.経皮経肝胆道鏡下切石術
- E.膵頭十二指腸切除術

答え

問題 1 問 1 D、問 2 C



問題 2

48 歳女性。2021 年 4～8 月に摂食障害や腹水の増悪のため、当科精神科へ入院となり、治療後、外来でフォローされていた。その後、12 月に上部消化管出血の疑いで、入院となった。

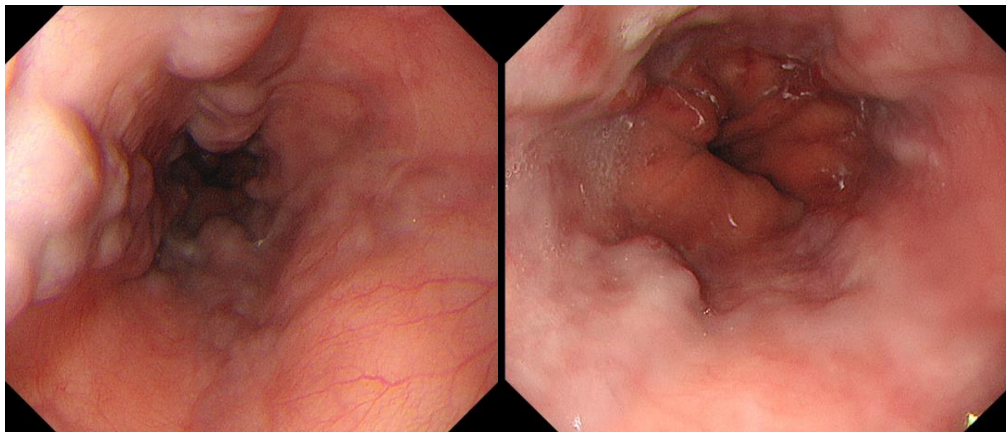
【既往歴】神経性やせ症、肝障害、原発性甲状腺機能低下症、胃食道逆流症

【身体所見】身長 156.5cm、体重 28.7 kg、体温 37.0 °C、血圧 82/57 mmHg、心拍数 71 回/分。意識清明。著明なうい瘦を認める。腹部 平坦、軟、圧痛なし。

【血液検査所見】

WBC 2430,RBC 307 万,Hb 7.5 g/dL, Plt 35.1 万,血漿総蛋白 6.3 g/dL,Alb 2.9 g/dL, T-Bil 0.5 mg/dL, AST 39 U/L,ALT 44 U/L,LD 265 U/L,ALP 98 I/L, γ -GTP 50 U/L,アミラーゼ 245 U/L,BUN 16 mg/dL, Cre 0.59 mg/dL,空腹時血糖 ,CRP 0.01,Na 139 mmol/dL,K 2.7 mmol/dL, Cl 92 mmol/dL

上部消化管内視鏡像を以下に示す。



問1 上部消化管内出血の原因として、最も適切なものはどれか。

- A.食道静脈瘤
- B.食道癌
- C.食道異物
- D.胃癌
- E.食道アカラシア

問2 この疾患に対する内視鏡治療として、適切なものを2つ選べ。

- A.拡張術

- B.結紮術
- C.硬化療法
- D.高周波凝固
- E.粘膜切除術

答え

問題2 問1 A、問2 B、C